

1 基本情報

施設名称	大阪市立淀川区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②10,651人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③407.3人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市淀川区社会福祉協議会
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	10,651	407.3
年度実績	86.0%	14,178	494
達成率	100.5%	133.1%	121.3%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	14,178	15,235	-1,057

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	16,235,390	16,148,000	-162,610	—
	計画	16,398,000	16,148,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	0	0	—
	計画	0	100,000		
合計	実績	16,235,390	16,148,000	-162,610	—
	計画	16,398,000	16,248,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	10,708,371	11,952,034	-1,841,629	館長一ヶ月不在・職員1人三ヶ月不在による減
	計画	12,550,000	12,550,000		
物件費	実績	5,368,503	2,735,484	1,520,503	備品の購入による増
	計画	3,848,000	3,698,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
合計	実績	16,076,874	14,687,518	-321,126	—
	計画	16,398,000	16,248,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	100.5%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を達成している。
センターの延べ利用人数	133.1%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人数	121.3%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。

(2) 管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・生涯学習インストラクターバンク利用による謝礼節減。 ・郵送の削減及び節電による経費節減。	B	備品購入による経費の増加があったが、節電などの取り組みを行うなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と連携して、避難経路等の点検・確認の実施や利用者も参加する避難訓練を実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・アウトリーチに関しては、地域の要望に合わせて講座を提供したり、eスポーツを広め、新しいことへのチャレンジを促していくなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・区老人クラブ連合会及び区子供会連合協議会と共催でこども祭りを実施するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・パソコンのIDパスワードを定期的に変更するなど、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電や裏紙使用など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2) 回答者100人（未記入者含む）
(3) 質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動
(4) 結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が86.0%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.事業報告書のPDCAの書き方が、P（計画）では1～5、D（実施内容）ではア～オになっていたり、誤字も見受けられたりしたため、同じ番号を附番し整合性がかかるようにするなど、注意して記載いただきたい。また、D（実施内容）には、目標値等を記載したり、C（成果と課題）とA（改善策）のつながりをもう少し分かりやすくしたりするなど、工夫していただきたい。
2.ポッチャは2回実施で、男性11名が参加しており、男性利用者を拡大するという取り組みとして評価できる。更なる男性参加者増加に向け、今後も実施していただきたいとともに、モルック等のニュースポーツにも取り組んでいただきたい。
3.地域別の参加者を把握し、出張講座を行っており、アウトリーチの取り組みに繋げている点は評価できる。
4.ボウリングは、男女共参加者数が多いため評価できる。また、参加希望者の多い健康麻雀の回数を増やすことを検討していただきたい。
5.eスポーツは、常設は難しいが定期的実施している点は、評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	センター内で開催する講座やイベントだけではなく、地域へ出向いて講座を開催する「出張老人福祉センター」の実施回数を増やすなど、工夫しながら実施することで、数値目標を達成した。
管理経費・市費の縮減	B	ボランティア講師を利用し実施方法を工夫したり、郵送料や光熱水費を節減することで、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況	B	センター内で開催する講座やイベントだけではなく、地域へ出向いて講座を開催する「出張老人福祉センター」の実施回数を増やすなど、実施方法を工夫しながらセンターの運営に努めた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。